



▶▶ 福岡県福岡市

安全で安心して暮らせるまちづくりのために

福岡市では、全国に誇れる消防救急体制の構築に向けて、救急車出動から病院搬送までの所要時間の更なる短縮を目指しており、「福岡市消防救急基金」を設置し、消防・救急車等の整備や救急車で使用する点滴、気道を確保する資機材などの購入費用をふるさと納税で募集しています。

また、平成28年の熊本地震や平成29年の九州北部豪雨の際には、寄せられたふるさと納税の運用益も活用し、被災地への消防支援

活動を行いました。

消防救急の取組については、市のウェブサイトなどに掲載し、寄附者には事業実績報告書のほか、市内の観光パンフレットも送付することで、ふるさと納税を契機とした関係づくりに取り組んでいます。



救急搬送イメージ



被災地での支援活動

注力した点や工夫した点

募集にあたっては、写真や具体的な事業内容を分かりやすく紹介しています。また、寄せられたふるさと納税が市の消防救急活動に活用されることが明確になるよう、基金に積み立てて運用しています。

Check

取組の効果

ふるさと納税で集められた資金の運用益も活用し、資機材などを購入することで、より充実した消防救急体制の構築を図っています。購入した資機材は実際に命を失う危険がある患者を救命する場面で活用されています。

また、ふるさと納税は、被災地への消防支援活動を応援したいという寄附者の気持ちの

受け皿ともなっており、全国からいただいた多くの方々の善意や感謝のメッセージは、消防救急行政に携わる職員の士気の更なる向上にもつながっています。



購入した資機材



被災地での捜索活動

寄附者の声



- ・熊本地震の被災地への支援方法に賛同します。災害支援にお役立てください。
- ・救急業務に役立てて、一人でも多くの救命につながってほしいと思います。

住民の声



- ・救急車にお世話になりました。適切に処置対応していただき、ありがとうございました。